



共助研さんが、来ちみた。福岡から、大分から！

長谷に「来ちみなあハウス」がオープン。

地元「愛する会」と我々「共助研」有志が店子となり空き家を借りたものだ。今日（7/23）は、その準備で来た。「愛する会」の方々が、雑巾、箒を片手に汗と笑顔で迎えてくれた。挨拶も早々に初掃除に奮闘。ひと汗をかき、腰を伸ばしたところで買出しと楽しい昼食。午後は、当ハウスの活用方法などを協議し一日を終える。

そして帰福の車中で考えた。ここ長谷には、世間を騒がす「IS国」も「ポケモンGo」もない。トンネルを越えたら万緑の郷がある。そして、「花いっぱい運動」をすすめる人がいる。そこに、我々が失った何か大切なものがある、それを感じるから来た。次回は泊りで来る。ここから明日を開く道が生まれ、子供たちの笑顔をみたい。

「来ちみなあハウス」が、その「集い、発信の場」となればと願う。（玉田孝二）



来ちみなあ 1号

「来ちみなあ」は、柴北上の県道から北に入った山際にある「来ちみなあハウス」（和洋室5室、ダイニングキッチン、バス、トイレ付住宅）での活動を紹介する通信です。発行：「来ちみなあハウス」店子グループ

共助研からの伝言

長谷の皆さん、こんにちは！

私たちは、福岡を拠点として九州内の農山村部と交流しながら地域の元気づくりをお手伝いしている「共助研」です。

活動を始めて8年。活動当初、ある機会を知り合ったのが「柴北川を愛する会」で、当時から「花いっぱいふる里づくり」に取り組まれていました。

その後、「愛する会」の皆さんとともに、山桜の調査や竹林整備、さらに松巖寺向かいの田を借りての田植え・稲刈りと、年に何度も長谷に通いながら楽しいおつきあいを続けています。

そんな長谷通いだけでは物足りなくなった私たちは、今年から自分たちの出城を持つと考えて、柴北上の空き家をお借りすることにしました。

少し前まで使われていたその家は、掃除をして家具を持ち込んだら素敵なハウスへと変身しました。

多くの皆さんに気軽に立ち寄っていただけるようにと名付けたのが、「来ちみなあハウス」です。私たち「共助研」と「柴北川を愛する会」が共同して管理しています。（波木健一）

長谷に古くからある「おやつ」を、探しています！

私たちの長谷通いも8年目。はてさて、これまでに何回、いや何十回通ったことでしょう。そのたびに、皆さんの笑顔に迎えられ、手作りのふるさと料理をふるまっていたいただきました。

そして、私たちの仲間の一人が気付きました。“長谷には、なんと多くのおやつがあるのだろう”。聞くと、やせうま、カリカリごぼう、やきもち、ジリ焼きなどなど・・・あるは、あるは。ところが、こんな豊富なおやつも、時代の流れの中で若い人には伝わらず、少しずつ消えつつあると。

そこで、今のうちにその記録を残しておこうと、「長谷の身近な文化遺産リスト」づくりを検討しています。

「来ちみなあハウス」には立派な台所もあるので、実際に「おやつ」を作ってみて記録に残したいと考えています。

皆様のご家庭に引き継がれてきた懐かしい「おやつ」の味を、教えてください。その味を、次世代の子ども達にも引き継いでいきましょう。（リストづくり担当 矢ヶ部輝明）



●「田植え」、無事終わったでえ。

6月25日（日）に、過去最高の参加者で無事終了。準備、当日の運営、片付けと大変でしたが、事故なく終わったことが一番の収穫でした。秋の稲刈り（10/23予定）にも沢山の参加者がありますように。

●大分市立西の台小「ととろクラブ」の宿泊キャンプ

8月6日（土）7日（日）に、西の台小学校父親部会（ととろクラブ）親子キャンプが、旧長谷小学校跡地を中心に実施されます。楽しい交流も予定しています。

●「盆踊り」が、あるでえ。

8月14日（日）に、黒松盆踊り（19:30～・旧長谷小学校体育館）、栗ヶ畑盆踊り（19:00～・栗ヶ畑生活改善センター駐車場）があります。

●「精霊流し」も、あるでえ。

8月15日（月）の18時から、柴北上地区の樋ノ口橋で恒例の精霊流しがあります。

☆「来ちみなあハウス」のお披露目会、やるでえ。

8月20日（土）の18時から、柴北上の「来ちみなあハウス」のお披露目会を開催します。来ちみなあ！（渡邊雪法）

「来ちみなあハウス」の使用について

●店子会員は、自由に使えます。

店子会員は、「共助研」メンバーで店子会費を支払った方と、「柴北川を愛する会」会員です。

現在、店子会員を募集中です。入会希望の方は店子グループ「管理人」までご連絡ください。

●一時使用も可能です。

店子会員でなくても、ハウスの一時使用は可能です。使用料は要りませんが、維持管理のための寄付をお願いしています。

●使用にあたってのいくつかのルール

- ・使用希望の方は、事前に「管理人」までご連絡を。
- ・節度をわきまえた使用をお願いします。
- ・使用日記の記帳をお願いします。
- ・使用後は清掃し、ゴミは持ち帰ってください。

●お問い合わせ等は、店子グループ「管理人」まで。

- ・波木健一（共助研・事務局）
- ・渡邊雪法（柴北川を愛する会・事務局長）

